

## は し が き

グローバルな時代に‘役に立つ英語’をということで、実践的コミュニケーション能力の養成が叫ばれています。コミュニケーション能力を伸ばすには、まず、リスニングの力をつけることが大切です。相手の話していることが聞けて、初めて、スピーキングの力を伸ばすことができます。また、リスニングの力がつけば、リーディングやライティングの力も自然とついてくるものです。

リスニング能力を向上させることは難しく、ただ受身的に授業を聞いているとか、自分でテープを何となく聞いているだけでは、さほど効果は望めません。何事の習得にもコツがあるように、リスニング能力を向上させるにもコツがあるのです。本書は、これを‘理論に裏打ちされたコツ’という意味で、リスニングストラテジー（listening strategy）と呼び、「どうすればより短期間に、効率よく、リスニング力を向上させることができるのか」に焦点をあてて編集されています。

本書では、リスニングストラテジーのうち、最も重要であると思われる「音声聞き取りのストラテジー」と「内容理解のストラテジー」を20章に割り振って取り上げています。各章では、ストラテジーのポイントを数行で簡潔にまとめ、バラエティーに富んだ練習問題により、ストラテジー習得のための実践演習が行えるようにしてあります。さらに、章末の“Let's Try!”には応用問題を補充して、ストラテジーの定着を図っています。

本書には、CDを添付してあります。授業だけでは時間的に不十分なので、家庭学習にぜひ活用してほしいからです。望ましいのは、予習として、授業で習う範囲を前もって聞いておき、自分なりの答えを書きとめておくことです。授業では、解説を聞きながら、リスニングストラテジーを確実に‘自分のもの’にします。また、復習として、授業で学習した箇所を聞き直し、リスニングストラテジーの理解を深めるのです。

本書は、好評を博した『英語のリスニングストラテジー 効果的な学び方の要点と演習』（金星堂、2000年1月発行）のワークブックとして発刊されたもので、20章からなる「章立て」もほぼ同じで、併せて使用しますと、リスニングストラテジーをいっそう効果的に学ぶことができます。

本書はページ数こそ少ないですが、その中にリスニングストラテジーのエッセンスが凝縮されています。これまでの学習方法では気付かなかったリスニングのコツや、リスニング能力の伸びを実感することでしょう。

最後に、企画の段階からいろいろとご助言を賜り、編集に格別のご尽力をいただいた金星堂編集部の嶋田和成氏に心からお礼申し上げます。

2002年1月

大学英語教育学会（JACET）関西支部  
リスニング研究会メンバー一同